

かのような表現をしているのは過剰に見える。こういう時だからこそ、技能労働者などの担い手の育成にしっかりと投資していく意識を持つことが重要だ」といたって冷静だ。

福岡に着任して、まもなく2年が経つ竹下執行役員九州支店長。「人口が増加している福岡では受注案件も多い。しかし九州全体で考えるとまだまだ差がある」と課題を語る。一方で、九州のポテンシャルについては高く評価している。「九州は素材の宝庫だ。九州の各県がもつと一体的に、観光施策などを工夫することでより魅力が高まるようになるはずだ」と期待を込める。

### 3年振りにガス事業復帰 地域に根ざした運営を

久留米ガス（福岡県久留米市）の原田浩社長はことし7月に就任した。前職は西部ガス関連会社



で、棒ラーメ  
ンで有名なマ  
ルタイ（福岡  
市西区）。「ま  
つたくの門外

漢だった食品加工業から、長年従事してきたガス事業に3年振りに戻ってきた」と笑顔をみせる。

久留米ガスには縁があり、同社が久留米市から西部ガスに運営が譲渡される時に深く携わった。そのため、同社のこれまでの経緯や内情にも詳しく、久留米にも旧知の人が多く、同社は民営化からすでに8年がたっており、取り巻く環境や社内の状況は大きく変化している。変化にどれだけ対応できるかが問われる。

2017年春には都市ガスの自由化が待ち受ける。東京や大阪など都市部では競争激化が指摘されるが、九州の市場はやや不透明だ。ただ、「地域に根ざし、法令を順守し、安全にガスを供給するという当社の姿勢は変わらない」と力を込める。

### 倉庫の存在価値に注目を 歴史で現地の風土を把握

倉庫事業、ナカノ商会（東京・江戸川区）の沼澤宏社長はこの8月、同社九州支社を訪問し、『もの』を作り、蓄え、動かす。生産と物流の間をつなぎ、地域経済の

一翼を担う倉庫の存在価値に目を向けていただきたい」と主張した。

同社は1988年に設立。現在、事業拠点を関東・関西・東北・九州の各主要都市に置き、倉庫は全国約150カ所に持ち、総床面積は69万3000平方メートルになる。九州支社が入居する「箱崎ふ頭物流センター」（床面積2万6400平方メートル）は



「現地の風土を把握してから出張に臨む」ため、九州地区でもネットショッピング市場の広がりに期待を寄せ、地場の風土にとけ込むように事業を進めながら、先述の主張を貫いているところだ。

2007年に設立。建築資材、家電から食品まで預かる「もの」は多岐にわたるが、最新の倉庫には「インターネットショッピングに対応できる仕様が望まれる」。

国内外を問わず出張前には「出張先の歴史に関する本を読む」。

## MIN-ON GUIDE

http://www.min-on.or.jp/  
10月公演より

【お問い合わせ・お申し込み】  
MIN-ON九州センター  
TEL (092) 629-3050

### ♪カリブ海ミュージック・クルーズ「グアコ」

ベネズエラのスーパーバンドがついに来日。東にガイアナ、西にコロンビア、南にブラジルと国境を接し、北はカリブ海、大西洋に面する南アメリカ北部に位置しており、南米大陸でも指折りの「自然の宝庫」として知られているベネズエラ。そこから生まれたバンド「GUACO」（グアコ）の結成は1962年。当初は伝統音楽の演奏で人気を博したが70年代からはサルサやファンク、ジャズ、ロックなど様々な音楽要素を取り入れた独自のポピュラーミュージックを生み出し、ヒット曲にも恵まれた。今日に至るまで幾度となくメンバーチェンジを繰り返す、50年以上を経ているが、2016年グラミー賞「ベスト・トロピカル・ラテンアルバム部門」にノミネートされるなど現在でもラテン音楽界の第一線で活躍している。今回は結成時からのメンバーであるグスタボ・アクアド率いる16名の初来日公演である。

